

# 中国による日本産水産物の全面輸入停止措置に係る 関連事業者への緊急ヒアリング結果について

令和 5 年 11 月 17 日  
道経済部経済企画課

## I 水産加工業（地域別）

### 1 宗谷・オホーツク地域

ホタテの冷凍両貝や玉冷の取扱事業者が多い地域であり、取引価格の下落や冷凍倉庫の在庫増加による影響を受けている事業者の声が多い傾向にある。商社等を通じて中国に輸出している事業者からは、中国に代わる販売先として、難しいとしつつも、欧米やアジア圏に販路の開拓・拡大を求める声が聞かれた。

#### 【事業者からの主な声】

- 加工機械の導入も考えているが、初期費用と維持費が高額であり、質の高い商品を作るためには、人の手による工程も多く、簡単には踏み切れない。
- 中国向けに輸出するホタテがほとんどであるため、この分を国内向けに切り替えたとしても消費量は知れており、さほど伸びるとは思えない。
- 海外への輸出が増えた影響で、昔と比べてホタテの単価が高くなっており、国内への販路転換はなかなか難しいのではないかと。
- 米国やアジア圏に販路を開拓するために動いているが、生食の文化が薄かったり、単価の折り合いが付かなかつたりと、中国に変わる国・地域に販路を見いだすことは現実的ではない。
- 対米・対EUのHACCPを取得するためには、検討から設備導入、現場教育まで含めると数年はかかる。国において、HACCP取得に向けた幅広い支援をお願いしたい。

### 2 釧路・根室地域

ホタテ漁が12月から開始する地域もあることから、調査時点では、中国による輸入停止措置の影響を受けている事業者の声は少ない傾向にあるが、今後の動向・状況の変化に注視していきたいといった声が多く聞かれた。

#### 【事業者からの主な声】

- ホタテの加工機械の導入により、近年の売上は伸びていたが、輸入停止によって大幅な減少が見込まれる。今後の状況は不透明であるが、雇用を減らす訳にはいかない。
- 理由は明らかではないが、マレーシアの業者との取引が中止になった。今後、その他の国・地域でも取引中止や輸入停止といった対応が増えるのではないかと不安を抱えている。

- これまで、中国に対して高く売りすぎていたことが大きな要因。1キロ3,000円であれば、国内販売も可能。
- 各事業者の在庫が飽和状態となっているため、更なる価格下落を懸念。
- サケは、今期も不漁だったが、去年の在庫やロシア産・チリ産の影響で価格が下がっている。

### 3 道南地域

噴火湾でのホタテ漁が開始するまでの間、オホーツクからホタテを仕入れている事業者は、冷凍倉庫の在庫が増加しているため、新たな輸出先国・地域を模索する動きがあるほか、噴火湾でのホタテ漁が始まったときの対応についても懸念の声が聞かれた。

#### 【事業者からの主な声】

- 国内向けに製造している玉冷の市場価格が下落している。
- 中国以外の国・地域への輸出を試みているが、単価が非常に安い。現状の在庫をなくし、手元に資金を残すためにはやむを得ないと考えている。
- カントリーリスクを考慮し、中国への輸出は行っていないが、輸出中心で取り引きしていた会社が国内販売に切り替えた際は、自社の売上にも影響してくる。
- 噴火湾のホタテは、来年2月から漁期に入る。中国による輸入停止が解除されていれば両貝ホタテを、輸入停止が続いていれば国内向けにボイルホタテを加工する予定。
- 国において、中国の代替となる、東南アジアを始めとした輸出先のより一層の拡大支援をお願いしたい。

### 4 その他地域

ナマコやカニなど、ホタテ以外の水産物を取り扱っている事業者からの声が多く、中国へ輸出している一部の事業者は、在庫が増加傾向にある一方で、国内向けに販売している事業者からは、これまでのところ大きな影響はないといった声が多く聞かれた。

#### 【事業者からの主な声】

- 中国への輸出が止まっているため、国内のバイヤーは、今以上に価格が下落することを見越して注文を見送っている状況であり、在庫が動かない状態が続いている。
- 来年以降も継続的に取引を続けるためには、在庫があったとしても、取引を停止するわけにはいかない。
- ベトナムやインドネシアからも引き合いがあるが、中国と比べて価格を下げざるを得ず、どの程度の利益が出るかは不透明。
- 中国国内に水産物加工場を置いているが、完成した商品を日本へ送るだけであるため、影響はない。

- 輸出に積極的に取り組んでいるわけではないので、今のところ大きな影響はないが、ホタテを安値で売り急ぐようなことが発生すれば、値崩れを起こす可能性があるため、資金繰りを支援する制度があると良い。

## Ⅱ 水産加工業以外の業種

農畜産品や酒類製造の事業者からは、中国による日本産水産物の全面輸入停止により大きな影響を受けているといった声は少なかったが、今後、水産物以外の食品・商品においても輸入停止措置が取られるのではないかと懸念する声が聞かれた。

### 【事業者からの主な声】

- 中国では、原材料もチェックされていると聞いており、この先、水産物以外においても輸入停止措置が拡大されないか懸念している。
- 中国に対しては、少量の輸出しか行っておらず、大きな影響はない。中国への輸出は不安な点が多く、消極的。
- 中国の対応にならって他国・地域も輸入停止措置を講じるようなことがあれば、商品のレシピを変更するなどの対応が必要になると考えている。
- 自社倉庫への入庫希望が寄せられているが、冷凍両貝の出荷ができずに在庫となっており、新規の申込みを断っている状況。
- 水産加工業者の経営が厳しくなると、運輸や梱包、設備メンテナンスなど、関連事業者にも影響が波及することを懸念している。

### ◆緊急ヒアリング概要

実施期間：令和5年9月1日～10月31日

ヒアリング数：127社（うち水産加工88社）

実施方法：各（総合）振興局職員による訪問